

あいちモリコロ基金終了記念フォーラム

<別添資料>

- 1、あいちモリコロ基金助成に関する運営経過
- 2、基金の成り立ちと運営体制及び基金の概要
- 3、募集及び助成の結果
 - 3-1 年度別
 - 3-2 活動分野別
- 4、助成団体の財政規模等
- 5、助成活動の内容調査結果
- 6、助成活動の成果・実績の数値化
 - 6-1 人の参画に関する結果
 - 6-2 成果物に関する結果
- 7、助成活動の成果及び評価（助成団体アンケート結果）
 - 7-1 団体への影響
 - 7-2 地域への影響
 - 7-3 人のネットワーク形成への影響
 - 7-4 モリコロ基金の仕組みへの評価
 - 7-5 10年間の成果と実現

あいちモリコロ基金助成活動に関する運営経過

2018.11.12 あいちモリコロ基金終了記念フォーラム

2007年8月30日	あいちモリコロ基金（公益信託愛・地球博開催地域社会貢献活動基金）設立
2007年9月5日	あいちモリコロ基金第1回運営委員会 ・基金設立趣旨、運営体制・委員、助成活動募集方針、審査基準・方法など決議
2007年10月1日	「初期活動」助成募集（～10月31日）＊助成事業のスタート
2010年10月	○助成活動評価事業（～2011年3月） ・助成団体調査（2007年から2009年度助成の全団体） ・定量評価；助成団体区分、活動内容、活動領域 ・定性評価（団体自己評価）；直接的成果、社会的成果
2011年9月29日	「2010助成活動評価事業」課題検討会議 ・目的；2010年度調査結果を受けて団体へのサポート検討。 ・団体アンケート実施。
2013年6月12日	制度・運営見直しプロジェクト委員会（第1回）
2013年9月14日	○制度の見直し検討小委員会報告（2013年度第2回運営委員会） ・団体助成か事業助成か⇒事業助成であると確認。 ・隣接県の申請数の拡大。 ・「備品・資材購入費」「人件費」について、詳細な根拠説明を求める。 ・採択件数・助成額は、現行を維持する。 ・申請書、実績報告書の記載内容（説明）の拡大 ・公開審査会の審議時間拡大（一次審査採択数の減少） ・減額給付制度導入 ・中間報告書の提出と事業実施中及び終了後のサポート ・申請書の添付書類について、団体の実績・財務諸表の添付を義務化。 ・初期活動も申請書、実績報告書を公開 ・初期活動要件の緩和（設立3年未満⇒5年未満、2014年募集より）など。
2014年7月7日	あいちモリコロ基金 助成活動影響調査委員会（第1回）
2015年4月3日	あいちモリコロ基金 助成活動影響調査委員会（第4回）
2015年6月	○助成活動影響調査報告書 ・助成活動の継続性調査 ・団体への影響・効果調査 ・地域や社会への影響・効果調査 ・人の参加など実績・成果の調査。 ・モリコロ基金の仕組み・運営方法への評価 ・特徴的活動事例のヒアリング調査 ○助成活動一覧（2007年～2014年10月採択1,288件掲載）を別冊で作成
2015年9月27日	あいちモリコロ基金フォーラム ＊2015年は愛・地球博10周年 ・調査報告書を発表、成果と課題、これからの検討
2017年8月18日	あいちモリコロ基金の成果調査報告書作成方針の協議（会議）
2018年5月16日	平成30年度第1回運営委員会 ・基金終了計画及び記録作成（最終報告書、WEBサイト）計画審議
2018年11月12日	あいちモリコロ基金終了記念フォーラム ・10年間の成果調査を報告し、評価
2018年度	基金の終了解散。10年間の内容を記録したWEBサイト制作。

基金の成り立ちと運営体制及び基金の概要

1. あいちモリコロ基金の成り立ち

1)2005 年日本国際博覧会と基本理念継承発展検討委員会

2005 年日本国際博覧会は、愛・地球博と名付けられ、「自然の叡智」というテーマのもと、地球的課題の解決に貢献し、自然の仕組みと調和した新しい文明を構築することを目指して、平成 17 年 3 月 25 日から 9 月 25 日まで開催され、2,200 万人の入場者を集めました。

財団法人 2005 年日本国際博覧会協会（豊田章一郎会長）は、愛・地球博終了後に、万博の理念や成果の検証、収支残の活用方法等を検討するために、平成 17 年 12 月 20 日「2005 年日本国際博覧会基本理念継承発展検討委員会（木村尚三郎委員長）」を設置しました。検討委員会は、平成 18 年 6 月 13 日「愛・地球博 基本理念の継承と発展に向けて」として答申をまとめました。

答申では、「愛・地球博の高邁な意義や愛・地球博が人々にもたらした成果を単なる一過性のもので終わらせるのではなく、愛・地球博が掲げた目的を真に実現していくためには、理念や成果を継承し発展させることが不可欠である」と指摘されました。

そして、愛・地球博の基本理念を継承発展させていく事業とは、「愛・地球博が達成した価値の遺産を作り、その遺産と記憶を将来の世代に伝えていくことに他ならず、具体的には『記憶に刻む』、『繰り返し伝える』、『遺産を具体的な形で実用化する』という 3 点とすることが適当である」と提言。

特に、「遺産を具体的な形で実用化する」ことについては、「国際博覧会史上初めてとなった NPO・NGO や市民の直接参加が、多くの市民の共感を呼び、多くの来場者に行動喚起を促すこととなった。こうした新たな動きの芽生えと胎動を確かな歩みへと定着させ発展していくべきである」とされ、NPO・NGO や市民参加の重要性が指摘されました。

また、開催地域の市民の間で生まれ、市民の間に根付きつつある愛・地球博の成果を全国や世界に発信し拡大させていくことこそが効果的な手法だとされ、「全国において展開される事業」と「開催地域において展開される事業」に対して、収支残をそれぞれに配分することと、そのための検討委員会の設置が提言されました。

2)愛・地球博社会活動等支援基金検討委員会

基本理念継承発展検討委員会の提言を受けて、支援基金の運営スキームや支援対象事業及び審査の仕組み等を検討するため、愛知県、名古屋市、一般社団法人中部経済連合会、名古屋商工会議所、並びに学識経験者を構成員とした「愛・地球博社会活動等支援基金検討委員会（昇秀樹座長）」が平成 18 年 8 月 17 日に設置されました。

検討委員会は、4 回開催され、NPO 代表 4 名のヒアリングも行われて、平成 18 年 12 月 4 日「愛・地球博社会活動等支援基金検討委員会報告書」がまとめられました。

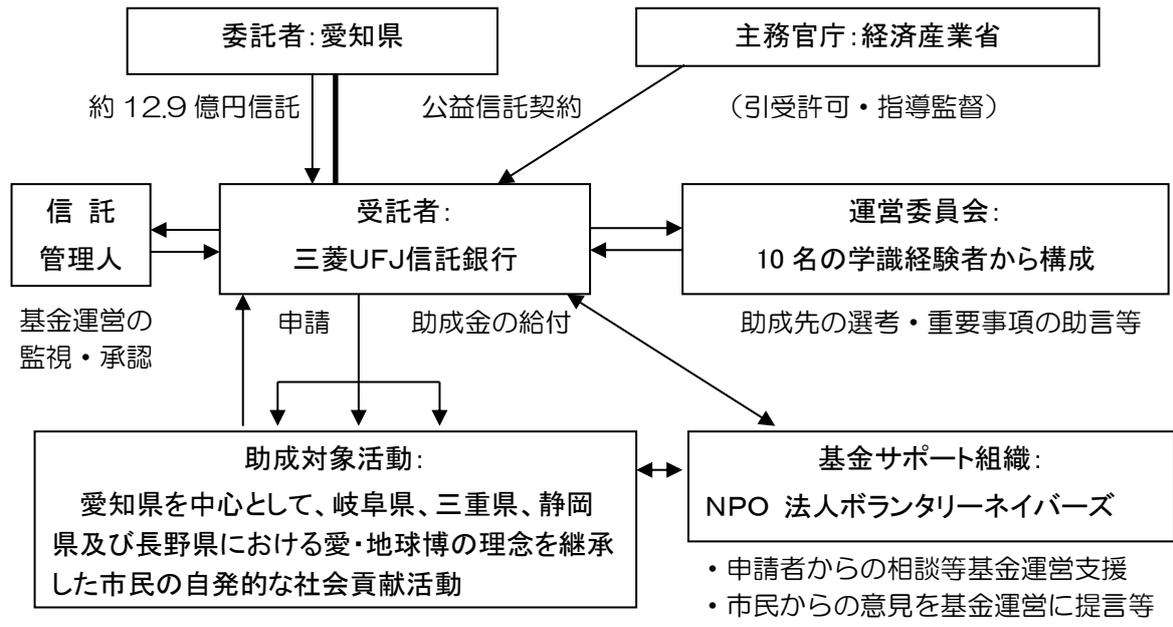
このなかで、支援基金は「持続可能な社会に向けた自発的な市民の取組みを通じて 21 世紀社会のモデル構築を目的とすること」、運営手法として「透明で公平性が担保される公益信託とすること」、支援対象エリアとして「東海 3 県に静岡・長野を加えた中部 5 県とすること」、名称として「公益信託 愛・地球博記念社会貢献活動支援基金とすること（公益信託申請段階で現名称に修正）」、効果的な運営のため「NPO 等による基金サポート組織を設置すること」などが提言されました。

こうして、「公益信託 愛・地球博開催地域社会貢献活動基金（愛称：あいちモリコロ基金）」が発足することとなりました。

3)公益信託 愛・地球博開催地域社会貢献活動基金

「公益信託 愛・地球博開催地域社会貢献活動基金（愛称：あいちモリコロ基金）」は、平成 19 年 8 月 30 日に設立。平成 19 年 10 月に第 1 回目の助成活動募集が行われ、以降平成 30 年終了まで、応募総数 3734 件、助成件数 1603 件、助成総額 10 億 8324 万円の助成が行われました。

(1)あいちモリコロ基金の仕組み



(2)あいちモリコロ基金の概要

- ① 委託者：愛知県
- ② 受託者：三菱UFJ信託銀行株式会社
- ③ 主務官庁：経済産業省
- ④ 信託財産：金銭 1,293,296,430 円（当初）
- ⑤ 給付方式：10 年間の取り崩し方式による助成金給付
- ⑥ 信託契約日：平成 19 年 8 月 30 日
- ⑦ 助成対象者：愛知県及び隣接県（岐阜県・三重県・静岡県・長野県）の 5 名以上のグループ又は団体。（隣接県の場合は、愛知県内の団体等との共催の場合に限る。）
- ⑧ 助成対象活動：愛・地球博の理念を継承発展させるに相応しい市民の自発的な参加に基づく社会貢献活動
- ⑨ 助成の種類：「初期活動助成」、「展開期活動助成」、「大規模活動助成」の 3 種。
- ⑩ 助成額：「初期活動助成」は 1 件 30 万円を上限として年間 100 件程度、「展開期活動助成」は 1 件 100 万円を上限として年間 50 件程度、「大規模活動助成」は 1 件 500 万円を上限とし年間 7・8 件程度で、総額 1 億 2 千万円程度。
- ⑪ 助成方法：助成対象となる市民の自発的な社会貢献活動に対して、年 2 回公募を行い、運営委員会の選考を経て、助成金を給付する。

3-1 募集及び助成の結果（年度別）

年度	区分 活動実施 対象期間	初期					展開期					協働					大規模					全体		
		助成金額	助成件数	申請件数	倍率	基準点 (注)	助成金額	助成件数	申請件数	倍率	基準点 (注)	助成金額	助成件数	申請件数	倍率	基準点 (注)	助成金額	助成件数	申請件数	倍率	基準点 (注)	助成金額	助成件数	申請件数
19年度	H20.1-9	3,156	109	196	1.8	18.0																3,156	109	196
20年度	H20.4-21.3	1,480	51	117	2.3	18.4	4,511	57	183	3.2	18.3	998	10	37	3.7	18.3	3,695	8	24	3.0	23.4	12,128	175	462
	H20.10-21.9	1,444	49	101	2.1	18.0																		
21年度	H21.4-22.3	1,493	50	89	1.8	18.0	3,325	37	121	3.3	20.0	1,032	11	33	3.0	20.0	3,620	8	72	9.0	23.0	10,891	155	409
	H21.10-22.9	1,421	49	94	1.9	18.4																		
22年度	H22.4-23.3	1,448	50	70	1.4	18.1	2,916	35	96	2.7	21.6	965	10	22	2.2	21.3	3,995	8	32	4.0	21.1	10,727	151	365
	H22.10-23.9	1,403	48	145	3.0	20.0																		
23年度	H23.4-24.3	1,438	49	78	1.6	19.8	4,055	47	109	2.3	20.7						3,635	8	32	4.0	21.1	10,582	154	326
	H23.10-24.9	1,453.5	50	107	2.1	18.7																		
24年度	H24.4-25.3	916	31	61	2.0	17.6	4,389	49	101	2.1	22.7						3,296	7	25	3.6	22.7	10,112	139	318
	H24.10-25.9	1,511	52	131	2.5	19.3																		
25年度	H25.4-26.3	1,513	51	86	1.7	18.8	4,279	48	110	2.3	22.5						4,094	9	27	3.0	24.8	11,419	162	338
	H25.10-26.9	1,533	54	115	2.1	19.6																		
26年度	H26.4-27.3	1,214	41	79	1.9	19.0	4,180	48	127	2.6	19.7						3,716	8	35	4.4	21.4	10,645	149	322
	H26.10-27.9	1,535	52	81	1.6	19.0																		
27年度	H27.4-28.3	1,331	45	73	1.6	18.7	3,764	40	106	2.7	22.0						3,405	9	30	3.3	22.0	9,968	145	317
	H27.10-28.9	1,468	51	108	2.1	19.2																		
28年度	H28.4-29.3	1,562	54	138	2.6	19.7	3,960	42	108	2.6	21.5						4,070	9	32	3.6	22.0	10,823	148	364
	H28.10-29.9	1,231	43	86	2.0	19.0																		
29年度	H29.4-30.3	913	31	75	2.4	20.0	3,790	48	131	2.7	21.5						2,320	7	33	4.7	23.3	7,873	116	317
	H29.10-30.9	850	30	78	2.6	19.3																		
	小計						39,169	451	1,192	2.6	21.0	2,995	31	92	3.0	19.9								
	合計&平均	30,314	1,040	2,108	2.0	18.8	42,164	482	1,284	2.7	20.9						35,846	81	342	4.2	22.5	108,324	1,603	3,734

◆初期活動＝上限30万円×100件（年間、2回募集）、書類審査のみで判断。
 展開期・協働活動＝上限100万円×50件（年間）、H22年度以降は展開期へ包括。1次審査（書面）と2次審査（公開プレゼン）。
 大規模活動＝上限500万円×8件（年間）は、1次審査（書類）と2次審査（公開プレゼン）で判断。

◆審査会における評価は6項目。「愛・地球博の理念継承性」「必要性・公益性」「先駆性・先進性」「発展可能性」「実現可能性」「費用の妥当性」。うち「理念継承性」が3.0点以上かつ合計点が上記基準点以上のものを採択。
 平成24年度以降は、「費用の妥当性」も3.0点以上であることが条件となった。

3-2 募集及び助成の結果（活動分野別）

【助成団体】 助成金額 x 活動区分 x 活動分野

	全体		初期		展開期・協働		大規模	
	平均額 【万円】	件数 【団体】	平均額 【万円】	件数 【団体】	平均額 【万円】	件数 【団体】	平均額 【万円】	件数 【団体】
	助成総額 【万円】		助成総額 【万円】		助成総額 【万円】		助成総額 【万円】	
環境保全	65.3	298	29.2	184	84.9	101	424.7	13
	19467.5		5371.5		8575.0		5521.0	
子どもの健全育成	54.4	288	29.3	192	83.6	91	490.0	5
	15677.0		5616.0		7611.0		2450.0	
保健医療福祉	84.8	276	28.8	185	85.6	62	440.0	29
	23399.0		5333.0		5307.0		12759.0	
まちづくり	60.0	203	28.9	153	90.7	42	491.8	8
	12170.0		4427.0		3809.0		3934.0	
社会教育	57.0	106	29.6	67	89.3	37	375.0	2
	6038.0		1983.0		3305.0		750.0	
国際協力	85.0	89	29.2	43	91.5	38	353.9	8
	7565.0		1257.0		3477.0		2831.0	
災害救援	87.8	68	29.1	36	92.8	27	483.2	5
	5969.0		1048.0		2505.0		2416.0	
団体助言援助	104.0	48	29.7	19	85.1	24	477.0	5
	4993.0		565.0		2043.0		2385.0	
学術・文化・芸術・スポーツ	31.1	45	29.0	42	59.3	3	0.0	0
	1398.0		1220.0		178.0		0.0	
人権擁護平和	86.4	42	29.9	19	98.1	21	500.0	2
	3629.0		568.0		2061.0		1000.0	
職業能力雇用	74.6	33	29.7	23	97.5	8	500.0	2
	2463.0		683.0		780.0		1000.0	
地域安全	42.5	26	28.9	20	88.2	6	0.0	0
	1106.0		577.0		529.0		0.0	
男女共同参画	37.7	22	29.7	19	88.3	3	0.0	0
	830.0		565.0		265.0		0.0	
農山漁村	70.7	26	29.6	14	84.0	11	500.0	1
	1838.0		414.0		924.0		500.0	
情報化社会	50.1	10	29.4	7	98.3	3	0.0	0
	501.0		206.0		295.0		0.0	
科学技術振興	50.7	10	29.6	7	100.0	3	0.0	0
	507.0		207.0		300.0		0.0	
経済活動活性化	34.8	9	26.6	8	100.0	1	0.0	0
	313.0		213.0		100.0		0.0	
観光の振興	115.0	4	30.0	2	100.0	1	300.0	1
	460.0		60.0		100.0		300.0	
消費者保護	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0
	0.0		0.0		0.0		0.0	
計	67.6	1603	29.1	1040	87.5	482	442.5	81
	108323.5		30313.5		42164.0		35846.0	

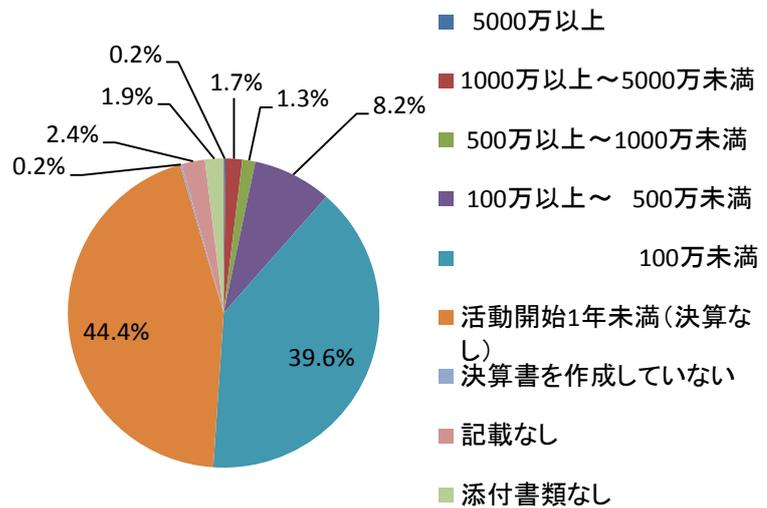
4、助成団体の財政規模等

初期活動の財政(収入)

5000万以上	2	0.2%
1000万以上～5000万未満	18	1.7%
500万以上～1000万未満	14	1.3%
100万以上～ 500万未満	85	8.2%
100万未満	411	39.6%
活動開始1年未満(決算なし 決算書を作成していない)	461	44.4%
記載なし	2	0.2%
添付書類なし	20	1.9%
計	1038	100.0%

初期の採択団体数 1040 空白あり2

初期活動

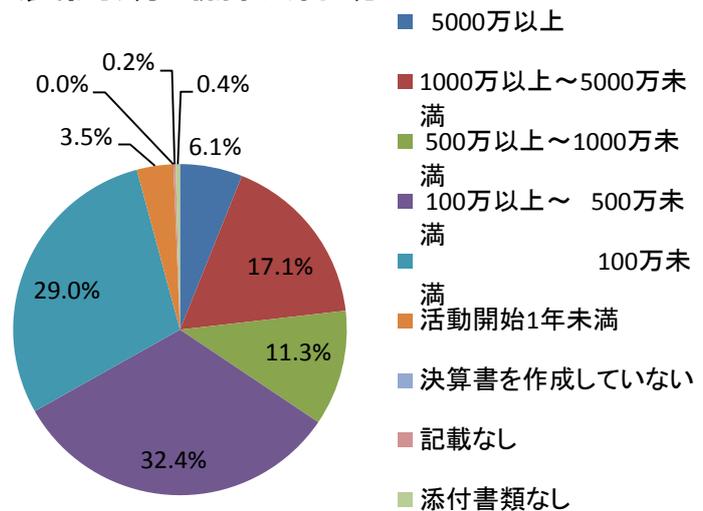


展開期・協働活動の財政(収入)

5000万以上	29	6.1%
1000万以上～5000万未満	82	17.1%
500万以上～1000万未満	54	11.3%
100万以上～ 500万未満	155	32.4%
100万未満	139	29.0%
活動開始1年未満	17	3.5%
決算書を作成していない	0	0.0%
記載なし	1	0.2%
添付書類なし	2	0.4%
計	479	100.0%

採択団体数 482 空白あり3

展開期・協働活動

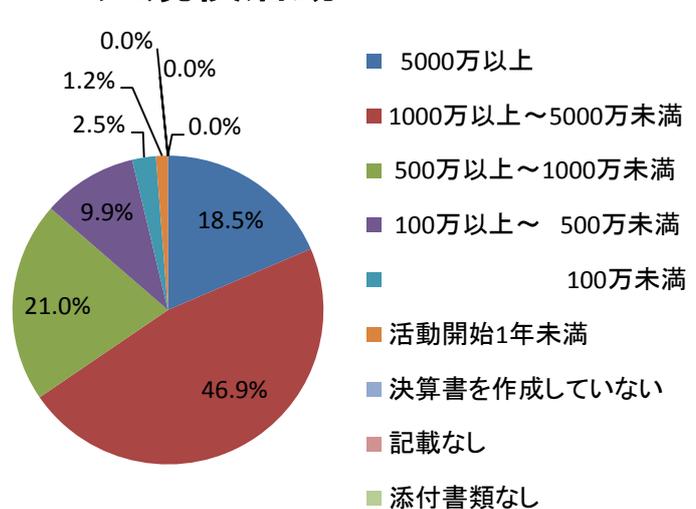


大規模活動の財政(収入)

5000万以上	15	18.5%
1000万以上～5000万未満	38	46.9%
500万以上～1000万未満	17	21.0%
100万以上～ 500万未満	8	9.9%
100万未満	2	2.5%
活動開始1年未満	1	1.2%
決算書を作成していない	0	0.0%
記載なし	0	0.0%
添付書類なし	0	0.0%
計	81	100.0%

採択団体数 81

大規模活動



5、助成活動の内容調査結果

●事業の実施対象者

調査項目	内容・事例
市民・住民	広く一般市民を対象
当事者	課題を抱える本人を対象
支援の担い手	当事者を直接、支える人・団体を対象
他団体	当事者の課題解決に、一緒に取り組む人を対象（団体間調整も含む）
専門家	当事者の課題解決に、一緒に取り組む専門家を対象
その他	

1)活動区分別事業の実施対象者
表ル

	事業の実施対象者					
	市民・住民	当事者	支援の担い手	他団体	専門家	その他
初期前期	135	106	38	22	9	0
初期後期	153	139	39	30	11	0
初期	31	15	3	5	0	0
初期(計)	319	260	80	57	20	0
展開期	167	154	107	119	45	3
協働	16	7	7	4	2	0
大規模	30	40	26	31	15	0
計	532	461	220	211	82	3

●事業内容

調査項目	内容・事例
普及・啓発	例；パンフレット作成、HP作成、広報周知イベントへの出展
相談・ピアサポート	例；子育てママサロン、居場所での多世代コミュニケーション、断酒会
サービスの実践	例；福祉サービスの提供、環境保護活動、外国語教室
研修・講座・ワークショップ	例；アウトリーチ手法講座、防災ワークショップ、人材養成講座
協働・ネットワークづくり	例；他団体との交流会多職種連携会議、申請者以外に主体的に関わる団体・人がいる事業
調査・研究	例；アンケート調査、専門家が協力し課題調査に取り組む事業等
その他	

1)活動区分別事業内容
表タ

	事業内容						
	普及・啓発	相談・ピアサポート	サービスの実践	研修・講座・ワークショップ	ネットワークづくり	調査・研究	その他
初期前期	196	209	193	250	165	37	1
初期後期	189	214	221	278	180	40	2
初期	37	51	62	62	31	11	0
初期(計)	422	474	476	590	376	88	3
展開期	241	142	245	276	224	107	0
協働	12	9	19	18	18	10	1
大規模	46	24	39	55	49	29	0
計	721	649	779	939	667	234	4

6 助成活動の成果・実績の数値化

6-1 人の参画に関する結果

調査対象	平成19年～29年度初期活動、展開期・協働活動、大規模活動
調査方法	助成終了時に提出された「実績報告書・自己評価書」の内容をもとに、調査担当による読み取り

調査項目	内容
事業に携わったスタッフ	団体内部で、事業を実施した実働メンバー数・団体数
ボランティア	団体外部で、事業の実施に携わったボランティア数・団体数
参加者	団体外部から、事業に参加した人、利用者、受益者・団体数
協力者	団体外部から、事業の実施に協力した人（講師含む）

●事業の担い手

1)活動区分別担い手
表イ

	事業に携わったスタッフ			ボランティア			参加者			協力者		
	対象団体【件】	個人【名】	団体【件】	対象団体【件】	個人【名】	団体【件】	対象団体【件】	個人【名】	団体【件】	対象団体【件】	個人【名】	団体【件】
初期前期	191	5,929	77	77	1,487	5	331	197,853	453	243	1,520	414
初期後期	197	4,751	14	72	2,433	20	354	237,669	2,790	261	1,746	478
初期	24	1,037	0	6	122	2	68	29,593	125	49	2,194	167
初期(計)	412	11,717	91	155	4,042	27	753	465,115	3,368	553	5,460	1,059
展開期	241	5,207	229	101	8,229	46	384	407,295	1,514	321	3,854	1,605
協働	15	361	16	7	488	10	27	8,452	124	21	96	44
大規模	55	4,275	79	18	2,306	1,164	72	170,130	854	63	4,076	394
計	723	21,560	415	281	15,065	1,247	1,236	1,050,992	5,860	958	13,486	3,102

6-2 成果物に関する結果

●事業により制作した成果物

調査項目	内容・事例
施設改修・建設	助成事業により、改修・建設した施設、設備等（例：福祉施設の改修、設備投資、海外事業地での施設建設等）
環境整備	助成事業により実施した環境整備（例；河川敷の整備、植林活動等）
広報物制作	助成事業を通じて制作した団体パンフレット、事業紹介リーフレット等
教材・テキスト・備品制作	助成事業を通じて制作した教材・テキスト等（例；講座テキスト、自助具、備品の収集・流通等）
取組成果の記録冊子	助成事業の内容を取りまとめた報告書、調査報告書、DVD等
ホームページ制作	助成事業を通じて制作したホームページ・ウェブサイト

1)活動区分別成果物 表へ

	施設改修・建設		環境整備		広報物制作		教材・テキスト制作		記録冊子		ホームページ制作	
	対象団体 【件】	改修施設 等のべ数 【件】	対象団体 【件】	環境整備 等のべ数 【件】	対象団体 【件】	広報部数 【枚】	対象団体 【件】	教材開発 件数・テキス ト部数	対象団体 【件】	冊子発行 部数	対象団体 【件】	ホームペー ジ制作件数
初期前期	40	12,371	29	43,736	114	200,361	22	3,758	49	4,375	7	3
初期後期	21	61,525	24	582	119	224,288	30	13,109	44	13,117	10	0
初期	8	5,428	12	105	16	6,621	2	0	6	380	7	0
初期(計)	69	79,324	65	44,423	249	431,270	54	16,867	99	17,872	24	3
展開期	45	458	58	359,387	150	619,359	65	31,646	95	68,168	38	6,114
協働	4	30	6	7,708	8	10,309	3	112	4	854	1	0
大規模	15	4,509	16	16,739	33	1,886,419	17	14,775	23	22,334	13	10
計	133	84,321	145	428,257	440	2,947,357	139	63,400	221	109,228	76	6,127

7 助成活動の成果及び評価（助成団体アンケート調査）

7-1 団体への影響

Q.2-1 助成事業は、貴団体にどのような影響を与えましたか。各項目について、A～Eより、1つ選び該当欄に ○ をつけてください。

	①団体の事業規模・財政規模が増えた						②会費や寄付が増えた									
	初期		展開期・協働		大規模		全体		初期		展開期・協働		大規模		全体	
当てはまる	110	22.8%	18	22.2%	9	47.4%	137	23.5%	28	5.8%	5	6.2%	1	5.3%	34	5.8%
ある程度当てはまる	127	26.3%	25	30.9%	1	5.3%	153	26.3%	71	14.7%	11	13.6%	4	21.1%	86	14.8%
あまり当てはまらない	114	23.7%	24	29.6%	4	21.1%	142	24.4%	140	29.0%	41	50.6%	7	36.8%	188	32.3%
当てはまらない	98	20.3%	12	14.8%	4	21.1%	114	19.6%	203	42.1%	22	27.2%	7	36.8%	232	39.9%
わからない	13	2.7%	1	1.2%	0	0.0%	14	2.4%	13	2.7%	2	2.5%	0	0.0%	15	2.6%
未記入	20	4.1%	1	1.2%	1	5.3%	22	3.8%	27	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	27	4.6%
計	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%

	③活動の担い手や協力者が増えた						④活動の担い手の力量(質)が上がった									
	初期		展開期・協働		大規模		全体		初期		展開期・協働		大規模		全体	
当てはまる	113	23.4%	22	27.2%	5	26.3%	140	24.1%	137	28.4%	38	46.9%	6	31.6%	181	31.1%
ある程度当てはまる	190	39.4%	40	49.4%	12	63.2%	242	41.6%	189	39.2%	25	30.9%	9	47.4%	223	38.3%
あまり当てはまらない	95	19.7%	14	17.3%	0	0.0%	109	18.7%	83	17.2%	13	16.0%	2	10.5%	98	16.8%
当てはまらない	57	11.8%	5	6.2%	2	10.5%	64	11.0%	37	7.7%	5	6.2%	2	10.5%	44	7.6%
わからない	7	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	7	1.2%	15	3.1%	0	0.0%	0	0.0%	15	2.6%
未記入	20	4.1%	0	0.0%	0	0.0%	20	3.4%	21	4.4%	0	0.0%	0	0.0%	21	3.6%
計	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%

	⑤団体の認知度や信頼度が高まった						⑥ほかの助成金がとれるようになった									
	初期		展開期・協働		大規模		全体		初期		展開期・協働		大規模		全体	
当てはまる	177	36.7%	34	42.0%	7	36.8%	218	37.5%	47	9.8%	8	9.9%	2	10.5%	57	9.8%
ある程度当てはまる	167	34.6%	39	48.1%	7	36.8%	213	36.6%	70	14.5%	14	17.3%	3	15.8%	87	14.9%
あまり当てはまらない	77	16.0%	6	7.4%	2	10.5%	85	14.6%	115	23.9%	22	27.2%	4	21.1%	141	24.2%
当てはまらない	24	5.0%	2	2.5%	2	10.5%	28	4.8%	189	39.2%	32	39.5%	9	47.4%	230	39.5%
わからない	20	4.1%	0	0.0%	1	5.3%	21	3.6%	30	6.2%	4	4.9%	1	5.3%	35	6.0%
未記入	17	3.5%	0	0.0%	0	0.0%	17	2.9%	31	6.4%	1	1.2%	0	0.0%	32	5.5%
計	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%

	⑦行政との関係や仕事生まれた						⑧その他									
	初期		展開期・協働		大規模		全体		初期		展開期・協働		大規模		全体	
当てはまる	77	16.0%	11	13.6%	5	26.3%	93	16.0%	18	3.7%	5	6.2%	0	0.0%	23	4.0%
ある程度当てはまる	139	28.8%	31	38.3%	3	15.8%	173	29.7%	2	0.4%	2	2.5%	1	5.3%	5	0.9%
あまり当てはまらない	105	21.8%	12	14.8%	6	31.6%	123	21.1%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
当てはまらない	111	23.0%	22	27.2%	5	26.3%	138	23.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	25	5.2%	3	3.7%	0	0.0%	28	4.8%	11	2.3%	1	1.2%	0	0.0%	12	2.1%
未記入	25	5.2%	2	2.5%	0	0.0%	27	4.6%	450	93.4%	73	90.1%	18	94.7%	541	93.0%
計	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%

7-2 地域への影響

Q.3-4	助成事業は、地域や社会にどのような影響を与えたと思いますか。各項目について、A～Eより、ひとつ選び、○をつけてください
-------	---

Q.3-4 助成事業が地域に与えた影響

	①社会のニーズ・課題の認知を進めることができた								②事業の対象者・受益者の自信や誇り、社会参加を育んだ							
	初期		展開期・協働		大規模		全体		初期		展開期・協働		大規模		全体	
とてもそう思う	131	27.2%	39	48.1%	8	42.1%	178	30.6%	109	22.6%	29	35.8%	10	52.6%	148	25.4%
ある程度そう思う	224	46.5%	32	39.5%	7	36.8%	263	45.2%	220	45.6%	36	44.4%	6	31.6%	262	45.0%
余思わない	82	17.0%	9	11.1%	3	15.8%	94	16.2%	91	18.9%	11	13.6%	2	10.5%	104	17.9%
全く思わない	6	1.2%	0	0.0%	1	5.3%	7	1.2%	7	1.5%	0	0.0%	1	5.3%	8	1.4%
わからない	27	5.6%	1	1.2%	0	0.0%	28	4.8%	37	7.7%	4	4.9%	0	0.0%	41	7.0%
未記入	12	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	12	2.1%	18	3.7%	1	1.2%	0	0.0%	19	3.3%
計	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%

	③多様な人々に社会貢献の機会を提供した								④地域の協力関係が作られ(広がり)、コミュニティづくりに役立った							
	初期		展開期・協働		大規模		全体		初期		展開期・協働		大規模		全体	
とてもそう思う	86	17.8%	18	22.2%	9	47.4%	113	19.4%	107	22.2%	14	17.3%	6	31.6%	127	21.8%
ある程度そう思う	192	39.8%	38	46.9%	5	26.3%	235	40.4%	192	39.8%	34	42.0%	8	42.1%	234	40.2%
余思わない	133	27.6%	19	23.5%	4	21.1%	156	26.8%	113	23.4%	27	33.3%	4	21.1%	144	24.7%
全く思わない	11	2.3%	1	1.2%	1	5.3%	13	2.2%	15	3.1%	1	1.2%	1	5.3%	17	2.9%
わからない	42	8.7%	5	6.2%	0	0.0%	47	8.1%	37	7.7%	2	2.5%	0	0.0%	39	6.7%
未記入	18	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	18	3.1%	18	3.7%	3	3.7%	0	0.0%	21	3.6%
計	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%

	⑤課題に取り組むノウハウや情報が公開・共有できる状態になった								⑥他の団体や他地域に、同様の取り組みが広がるきっかけを提供した							
	初期		展開期・協働		大規模		全体		初期		展開期・協働		大規模		全体	
とてもそう思う	64	13.3%	21	25.9%	5	26.3%	90	15.5%	63	13.1%	18	22.2%	3	15.8%	84	14.4%
ある程度そう思う	171	35.5%	36	44.4%	7	36.8%	214	36.8%	164	34.0%	26	32.1%	8	42.1%	198	34.0%
余思わない	162	33.6%	23	28.4%	6	31.6%	191	32.8%	153	31.7%	30	37.0%	7	36.8%	190	32.6%
全く思わない	27	5.6%	0	0.0%	0	0.0%	27	4.6%	35	7.3%	3	3.7%	1	5.3%	39	6.7%
わからない	36	7.5%	1	1.2%	1	5.3%	38	6.5%	49	10.2%	4	4.9%	0	0.0%	53	9.1%
未記入	22	4.6%	0	0.0%	0	0.0%	22	3.8%	18	3.7%	0	0.0%	0	0.0%	18	3.1%
計	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%

	⑦行政の事業・施策や制度に影響を与えることができた								⑧その他の影響							
	初期		展開期・協働		大規模		全体		初期		展開期・協働		大規模		全体	
とてもそう思う	50	10.4%	12	14.8%	3	15.8%	65	11.2%	3	0.6%	2	2.5%	0	0.0%	5	0.9%
ある程度そう思う	130	27.0%	26	32.1%	1	5.3%	157	27.0%	5	1.0%	0	0.0%	0	0.0%	5	0.9%
余思わない	167	34.6%	29	35.8%	11	57.9%	207	35.6%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%
全く思わない	58	12.0%	11	13.6%	2	10.5%	71	12.2%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
わからない	55	11.4%	2	2.5%	2	10.5%	59	10.1%	12	2.5%	2	2.5%	1	5.3%	15	2.6%
未記入	22	4.6%	1	1.2%	0	0.0%	23	4.0%	461	95.6%	77	95.1%	18	94.7%	556	95.5%
計	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%

7-3 人のネットワーク形成への影響

Q.3-6 助成事業を実施したことで、人や団体との協力関係に変化は見られましたか。各項目についてA～Dより1つ選び、○をつけてください。

	①対象者・受益者								②対象者の支援者や関係者(家族等)							
	初期		展開期・協働		大規模		全体		初期		展開期・協働		大規模		全体	
協力関係が深まった	139	28.8%	37	45.7%	11	57.9%	187	32.1%	92	19.1%	22	27.2%	10	52.6%	187	32.1%
協力関係ができた	188	39.0%	33	40.7%	6	31.6%	227	39.0%	173	35.9%	31	38.3%	6	31.6%	226	38.8%
協力関係はなかった	64	13.3%	6	7.4%	2	10.5%	72	12.4%	96	19.9%	11	13.6%	3	15.8%	72	12.4%
わからない	69	14.3%	3	3.7%	0	0.0%	72	12.4%	95	19.7%	14	17.3%	0	0.0%	72	12.4%
未記入	22	4.6%	2	2.5%	0	0.0%	24	4.1%	26	5.4%	3	3.7%	0	0.0%	25	4.3%
計	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%

	③地域住民・地縁組織(町内会、子ども会等)								④他のNPO・ボランティア団体等							
	初期		展開期・協働		大規模		全体		初期		展開期・協働		大規模		全体	
協力関係が深まった	58	12.0%	10	12.3%	3	15.8%	71	12.2%	76	15.8%	13	16.0%	6	31.6%	95	16.3%
協力関係ができた	146	30.3%	21	25.9%	10	52.6%	177	30.4%	193	40.0%	40	49.4%	10	52.6%	243	41.8%
協力関係はなかった	181	37.6%	36	44.4%	5	26.3%	222	38.1%	125	25.9%	19	23.5%	3	15.8%	147	25.3%
わからない	72	14.9%	11	13.6%	1	5.3%	84	14.4%	64	13.3%	6	7.4%	0	0.0%	70	12.0%
未記入	25	5.2%	3	3.7%	0	0.0%	28	4.8%	24	5.0%	3	3.7%	0	0.0%	27	4.6%
計	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%

	⑤学校・教育機関・専門家								⑥企業・営利団体							
	初期		展開期・協働		大規模		全体		初期		展開期・協働		大規模		全体	
協力関係が深まった	71	14.7%	24	29.6%	4	21.1%	99	17.0%	31	6.4%	9	11.1%	3	15.8%	43	7.4%
協力関係ができた	151	31.3%	34	42.0%	9	47.4%	194	33.3%	104	21.6%	15	18.5%	7	36.8%	126	21.6%
協力関係はなかった	153	31.7%	17	21.0%	6	31.6%	176	30.2%	222	46.1%	48	59.3%	9	47.4%	279	47.9%
わからない	87	18.0%	4	4.9%	0	0.0%	91	15.6%	92	19.1%	8	9.9%	0	0.0%	100	17.2%
未記入	20	4.1%	2	2.5%	0	0.0%	22	3.8%	33	6.8%	1	1.2%	0	0.0%	34	5.8%
計	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%

	⑦行政・議会								⑧その他							
	初期		展開期・協働		大規模		全体		初期		展開期・協働		大規模		全体	
協力関係が深まった	58	12.0%	10	12.3%	3	15.8%	71	12.2%	2	0.4%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.3%
協力関係ができた	151	31.3%	32	39.5%	5	26.3%	188	32.3%	1	0.2%	2	2.5%	0	0.0%	3	0.5%
協力関係はなかった	172	35.7%	31	38.3%	10	52.6%	213	36.6%	9	1.9%	1	1.2%	1	5.3%	11	1.9%
わからない	75	15.6%	5	6.2%	1	5.3%	81	13.9%	22	4.6%	1	1.2%	0	0.0%	23	4.0%
未記入	26	5.4%	3	3.7%	0	0.0%	29	5.0%	448	92.9%	77	95.1%	18	94.7%	543	93.3%
計	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%	482	100.0%	81	100.0%	19	100.0%	582	100.0%

7-4 モリコロ基金の仕組みへの評価

Q.4-1 助成制度を利用して良かったと感じる点

	初期		展開期・協働		大規模		全体	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
①活動分野が特定されていない／複数の分野にまたがった活動も申請できる点	223	11.5%	44	13.3%	11	13.6%	278	11.8%
②設立したばかりの団体・法人格を持たない組織も応募ができる点	354	18.3%	25	7.5%	7	8.6%	386	16.4%
③助成金額が多い点	134	6.9%	47	14.2%	15	18.5%	196	8.3%
④人件費や物品購入も対象経費とされるなど、用途の自由度が広い点	334	17.2%	69	20.8%	16	19.8%	419	17.8%
⑤助成金が前払いである点	268	13.8%	43	13.0%	10	12.3%	321	13.7%
⑥説明会や相談コーナーがあり、助言等が得られる点	107	5.5%	21	6.3%	2	2.5%	130	5.5%
⑦広域的で採用件数が多いため、他の助成事業(団体)の情報が得られる点	31	1.6%	13	3.9%	3	3.7%	47	2.0%
⑧モリコロ基金の知名度によって、PR効果や信頼度の面で成果があった点	169	8.7%	20	6.0%	6	7.4%	195	8.3%
⑨団体としての活動の自信やノウハウが生まれ、活動が活性化された点	180	9.3%	28	8.4%	5	6.2%	213	9.1%
⑩いろいろな人たちと知り合い、活動の拡がりづくりに役立った点	117	6.0%	16	4.8%	1	1.2%	134	5.7%
⑪その他	7	0.4%	4	1.2%	4	4.9%	15	0.6%
無効	13	0.7%	2	0.6%	1	1.2%	16	0.7%
	1937	100.0%	332	100.0%	81	100.0%	2350	100.0%

7-5 10年間の成果と実現

Q.4-2	あいちモリコロ基金の10年間を振り返り、どのような成果やまた何が実現したと思われますか。当てはまるものを3つまで選んで、○をつけてください。
-------	--

Q.4-2 モリコロ基金10年間の成果と実現

	初期		展開期		大規模		全体	
	件数	割合	件数	割合	件数	割合	件数	割合
①市民参加の促進	242	20.8%	31	14.7%	10	19.2%	283	19.8%
②NPO等市民活動の活発化・力量拡大	262	22.5%	54	25.6%	14	26.9%	330	23.1%
③多様な立場の人の共生・交流ネットワーク・協働の発展	184	15.8%	31	14.7%	7	13.5%	222	15.6%
④社会課題や地域の課題解決が進んだ	153	13.1%	24	11.4%	5	9.6%	182	12.8%
⑤新たな社会課題や地域の課題への取組が始まった・広がった	169	14.5%	44	20.9%	9	17.3%	222	15.6%
⑥将来の世代が安心して暮らせる持続可能な社会づくりが進んだ	53	4.6%	10	4.7%	4	7.7%	67	4.7%
⑦地球規模の課題を自分達の課題とする市民や活動が増加した	66	5.7%	14	6.6%	1	1.9%	81	5.7%
⑧その他	12	1.0%	3	1.4%	1	1.9%	16	1.1%
無効	23	2.0%	0	0.0%	1	1.9%	24	1.7%
計	1164	100.0%	211	100.0%	52	100.0%	1427	100.0%